もっと若葉台を

第４０回

「勝手に　花壇」

「紫陽花は、七度色を変えにけり、色定まれば、朽ちる待つのみ」こんな歌を突きつけられると、定年後の濡れ雑巾のおじさんの姿が眼に浮かびます。そう云えば、4 丁目に紫陽花ロードが御目見えしました。製作のボランティアさん達は、年配の方が多いらしいが、未だに光を放って、色を変えつつある熟年の方たちです。紫陽花が見頃になるにはあと数年。楽しみです。

手入れされたまちかど花壇

若葉台では、住民の土地（管理組合所有地）は約２５％程度でしょうか。その他は、県公社（賃貸住宅・駐車場・商店街など）、横浜市（公園・運動施設・学校保育園・道路・歩専道など）が所有しています。歩専道や公園などと組合所有地の境目等、見ても境界は判然としません。そんな土地は、思いの外、管理を忘れられて、草ぼうぼうっていたのでしょうか。東地区のグリーンボランティアや西地区の老人会、個人の有志らが、マリーゴールドやすみれ、バラ・あじさい等をせっせと植え、手入れをされています。勝手に植えちゃってますが、犯罪にはなりません。それどころか、ばらまき行政と言うのでしょうか、「まちかど花壇」とか「花と緑と街づくり」とか称して、補助金を出してくれる場合も有ります。ただし、お役所ですから、「〇十万円を交付するのに、期限迄に１００㎡を花壇化する事」等の条件が付いてきます。防災訓練補助金とか、こんな補助金の為に税金を払っているのですね。補助金なんか無くったって、「あんらたらの世話にはなりたくねえや。でも貰える物は貰っておきましょう。」知らないと出ないのも、変な話ですね。

手入れが無いと草ぼうぼうの道端

若葉台に、この街に思い入れの有るボランティアが、この街を成長させてくれます。いや、作業を通して、熟年・老年に差し掛かっても、自分を成長させているのかも知れません。連合自治会でも祭りの会でもスポーツ文化村でも各サークルでも。さて、貴方も七色に変身してみませんか。